

10/9 9.28

論説

2021-10-9

き「行われた岸田文雄首相の所信表明演説＝岸田首相の「民主主義の危機」への道義的な責任の所在に方向性を示した演説は感服されない。『国民新聞』の「民主主義の危機」を警戒したのは首相の責任である」というものがある。



岸田首相の所信表明演説の様子。

岸田首相は総選挙後首相の職務の継承である国民の信頼が厚いという。だが国民の民主主義の危機に際しては「責任」を強調した。それは9月9日の演説「岸田・菅政権」が民主主義を脅かすという点への認識を示している。

岸田首相は、首相としての責任を代わらずに国会を離れ、その一方で法案を提出し、その中で民主主義を脅かすという点への認識を示している。岸田首相は、首相としての責任を代わらずに国会を離れ、その一方で法案を提出し、その中で民主主義を脅かすという点への認識を示している。

首相の覚悟が見えない

民主主義の再生

岸田首相は「民主主義の危機」に際して総選挙で政権交代を遂げ、自ら責任を負うという覚悟を示した。しかし、岸田首相は「民主主義の危機」に際して総選挙で政権交代を遂げ、自ら責任を負うという覚悟を示した。しかし、岸田首相は「民主主義の危機」に際して総選挙で政権交代を遂げ、自ら責任を負うという覚悟を示した。

岸田首相は「民主主義の危機」に際して総選挙で政権交代を遂げ、自ら責任を負うという覚悟を示した。しかし、岸田首相は「民主主義の危機」に際して総選挙で政権交代を遂げ、自ら責任を負うという覚悟を示した。しかし、岸田首相は「民主主義の危機」に際して総選挙で政権交代を遂げ、自ら責任を負うという覚悟を示した。